# 不知火っ子だより　第８号

平成 28 年 11 月 24 日　文責　校長 吉永博美

# たくさんの交流の機会をいただきました。

## 11/8 サイエンススクールの開催

サイエンススクールとは、日本ユネスコ協会連盟と製薬会社ＭＳＤのパートナーシップのもと、小学校の科学教育への貢献を目的に２０１１年から行われている訪問授業です。本校では６年生を対象として授業を行っていただきました。九州では３校目、熊本では初の実施となりました。「いのちと健康」をテーマにしたワークショップやワセリンなど本当の軟膏に使う材料を使って、軟膏づくりを体験しました。体験学習を通して、科学者や薬剤師になりたいと思う子どもたちもいたようです。

## 11/14 松合小学校との交流授業

11 月 14 日に、松合小の全校児童（49 人）の皆さんを本校に向かえ交流を行いました。３・４時間目の授業そして、給食・昼休みと不知火小・松合小の児童が学年ごとに同じ空間で共に学び、児童の親睦が更に深まりました。

## 11/22 苓北町立富岡小学校から児童が育てた「復活熊本米」の寄贈

苓北町立富岡小学校５年児童（１１名）が育ててきた「復活熊本米」約２００ｋｇを、熊本地震で被害の大きかった不知火小学校の支援になるように寄贈してくださいました。米の名前は、児童会で相談して「復活熊本米」と名付けているそうです。

米寄贈式では、お互いの学校を紹介し、その後交流活動を行い親睦を深めました。午前中の活動でしたが、宇城の不知火小と天草の富岡小が友情の架け橋でつながる、いい機会となりました。

11 月６日の、しあわせふるさとまつりでも、たくさんの地域のみなさんにお世話になり、子どもたちは貴重な経験ができました。このような、様々な方たちとの出会いやかかわりを通して、子どもたちはより成長してくれること思います。

※これらの交流の様子は、本校ホームページに詳しく掲載しています。どうぞご覧ください。